

令和7年度
すくわくプログラム活動報告書

(実施対象：4・5歳児クラス)

モニカ新中野園

M  nica

テーマ

土の可能性

設定理由

石の探究を通して砂や土から石が出来ていることに興味を持ったり、夏野菜の栽培で土の匂いや触り心地に気付く姿があった。

対象クラス

4・5歳児クラス 8名

活動のねらい

土に触れるなかで、土の大切さや可能性を知る

問い

「土ってどうなっている？」
「土はどんな気持ち？」

活動期間

令和7年7月～10月

活動回数

計4回

活動①

マイクروسコープで土を見る

活動内容

3種類の土をマイクروسコープで拡大し、どんなものが見えたか言葉で表現し、友達と共有する。

○日々の取組み

- ・赤玉土、黒土、荒木田土の3種類の土に触れ、土の感触や色、性質の違いを知る。
- ・土絵の具や土粘土などの活動を行う。

活動②

コンポストを作り、命の循環を知る

活動内容

夏野菜の栽培で使用した土を使って生ゴミと乾燥ゴミのコンポストを作り、命が循環していく様子を見る。

○日々の取組み

- ・コンポストを作るなかで、コンポスト内の土がどんな気持ちかを考える。

土の不思議な世界



「ピカピカしてて電球みたい」



「雪の結晶みたい」

「穴があいてる、虫がいるのかな？」

マイクروسコープを通して色や光を感じ
興味が深まった時間を過ごしました

命の循環～コンポストを作る～

夏野菜の栽培で使用した土、給食で余った生ごみを使って
コンポストを作る。



石、赤玉土、糠、黒土
コンポストになぜ必要なのか考える。

「入れないと土が生きられないから」
「穴をふさぐため」
「土の元気が足りないから」



土に乾燥野菜・生ゴミを入れる

「たくさん食べてね」
「土ってどうやって食べるんだろう」
「どこに口があるのかな？」



土の感触や温度に触れ命を感じる。
ゴミになったものも栄養として再利用する。
コンポスト作りを通して命の循環・大切にすることの大切さを
学んでいきます。

活動③

土の動画や写真を見て土の気持ちを考え、身体で表現する

活動内容

園付近の見慣れた場所の土の動画をプロジェクターで流し、土の気持ちを考え全身で表現する。

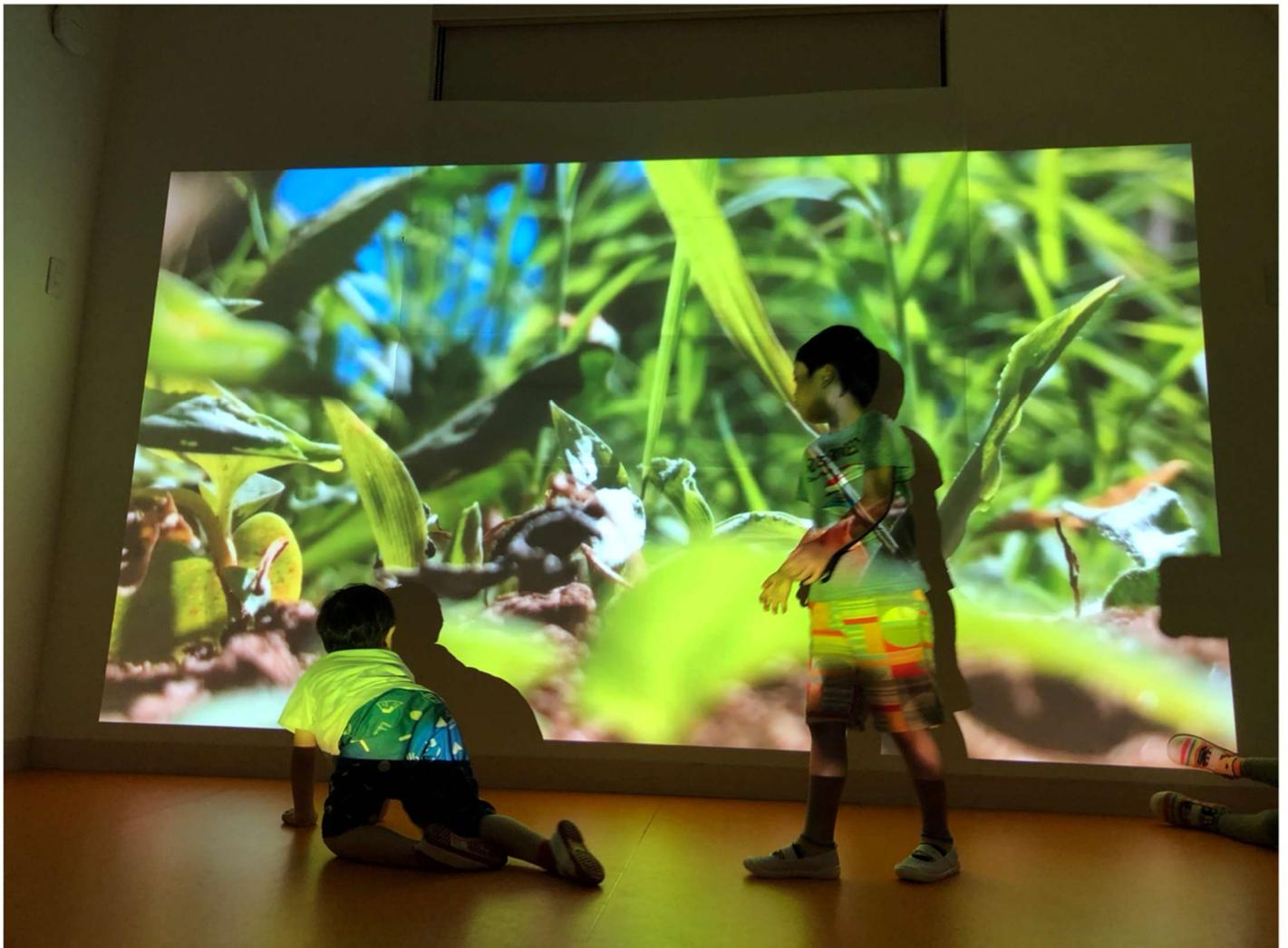
活動④

コンポストで使った土で植物を育てる

活動内容

コンポストで作った土を使用し植物を育てることで植物や土など、色々な物を大切にしようという気持ちを育み、行動に移す。

土になる



「葉っぱがお布団みたいで気持ちいい」
「涼しい〜！」 「下から見てみる！」

土になりきって気づく土の思い
視点を改めて感じ、考える
感じたことを感じて表現してみる

土に思いを馳せる瞬間です

めぐるいのち



残した野菜が土になる。

その土にまた新しい命を託す。

命は繋がっている。どんなものにも見えないけれど生命がある。

だから私たちは

お世話をする 大切に作る 感謝をする

そして今日も新しい命が生まれる。

使用物

土 3種 | マイクロスコープ | パソコン | 延長コード | 画用紙 | ふた(皿) | 水性ペン
ホワイトボード | 紫蘇を育てていたプランター | 生ゴミ用プランター | シャベル | 仕切り
赤玉土 | 黒土 | 紫蘇で使用した土 | 米ぬか | 生ゴミ | 乾燥ゴミ | 小さな石 | ちりとり
はさみ | 編集済みの動画 | プランター | iPhone(2) | iPad(2) | 外の土 | トレイ(2) | 小さな机

テーマ：土の可能性

全体の振り返り

身近な素材でありながらも知らないことも多く、興味を深めながら土の世界を楽しむことが出来ている。
楽しい経験から、考える力を伸ばすきっかけになった。これから様々なことで考える機会が増えていくため、
今回の経験が原点になったらいいなと思う。
また、土の探究を通し、植物や命の循環など色々なことに興味が広がっている。探究から探究へ、“新しい不思議に出会う” “知りたい” “どうして？”等々、子ども達の世界を引き続き深めていきたい。

終



株式会社モニカ

〒105-0004
東京都港区新橋1-9-5 KDX新橋駅前ビル 3F
TEL:03-6661-2466
FAX:03-6661-2467

モニカ新中野園

〒164-0011
東京都中野区中央4-7-14
TEL:03-6382-8871
FAX:03-6382-8876